

平成25年度鹿児島県広報コンクール

①作品名 ②掲載広報紙・掲載ページ ③担当課

■ 広報写真〈一枚写真〉部門 〈特選〉



- ① 健やかな成長を願って！
- ② 広報かのや（平成25年9月13日号）・表紙
- ③ 秘書広報課

○ 講評

- ・鬼神と泣き出した子ども、父親や後ろの近所の人たちの表情、良い瞬間をとらえている。
- ・広くピントも合い、後方も鮮明に写している。
- ・子どもを正面に狙い、真ん中に配置した良い写真。

〈入選〉

- ① 益救神太鼓年越祭
あけまして おめでとうございます
- ② 町報やくしま（平成25年1月号）・表紙
- ③ 企画調整課

○ 講評

- ・能面姿で大きなたいまつを振る祭りが力強く見られる。
- ・厄を払う瞬間がよく捉えられた素晴らしい写真。
- ・たいまつのみかりだけを使い、感度を上げての撮影で難しい場面をよくものにしている。
- ・自然光で夜の情景がでている。
- ・右下の灯りが入らないようにし、左上のたいまつをもう少し入るようにすればさらに良かった。



- ① 74歳、それでも前へ
- ② 広報きりしま
(平成25年9月10日号)
・16-17ページ
- ③ 秘書広報課

○講評

- ・陸上に打ち込むお年寄りを真っ正面から狙った、躍動感あふれる写真。
- ・望遠レンズを使い、高速シャッタースピードで撮影することで、素晴らしい写真になっている。
- ・周囲がぼけていることで被写体が浮き上がり、力強さを出している。
- ・躍動的だが、300mmぐらいの望遠レンズを使い、上半身アップで写してもよかったかも。



- ① ワキャシマヌウタを唄う。
- ② 広報やまと (平成25年11月号)・6ページ
- ③ 総務企画課

○講評

- ・土俵を囲んでの八月踊り、雰囲気のある写真。
- ・上の部分に夜空を入れて、白文字で記事を流す。よく考えて撮影してある。
- ・ワイドレンズで感度を上げて撮影しているが、踊りの人たちが少し流れすぎたようだ。
- ・左に太鼓を入れ、踊る人たちの動作をよい場面でシャッターを切れば、さらに良い写真になった。



- ① 待ちに待った夏！
- ② 広報ひおき（平成25年8月号）・8ページ
- ③ 企画課

○講評

- ・一斉に海に飛び込む子どもたち、上がる水しぶき。海に入ってから撮影が生き生きとした写真に仕上がった。
- ・子どもたちの楽しい表情が出た良い写真。
- ・少し傾けて撮影していることで、子どもたちそれぞれの動きを出している。
- ・感度を上げて高速シャッタースピードで撮影。水しぶきを止めることで夏の感じが出ている。

- ① 垂水千本イチョウ×幸福時間
- ② 広報たるみず（平成25年12月号）
・22-23ページ
- ③ 総務課

○講評

- ・有名な千本イチョウを珍しい写真に仕上げている。
- ・望遠レンズを使い、夫婦にピントを合わせた構図は素晴らしい。
- ・2ページ見開きの大胆なレイアウトは圧巻。ただ、記事の文字が白いため読みづらい点が気になる。
- ・イチョウと人物の組み合わせは絞り込んだ方が鮮明度が出るので、F値11以上に。
- ・中央の夫婦は三脚を立てて自分たちを撮影をしている。人物を大きく写してもよかった。



■ 広報写真〈組み写真〉部門

〈 特 選 〉



- ① 激闘の記録
- ② 広報かのや
(平成25年3月13日号)
・ 8 - 9 ページ
- ③ 秘書広報課

○ 講評

- ・ 地元に残る伝統芸能を知ってもらおうとする意気込みが感じられる。
- ・ 大木の枝をからませて引き合う。男たちが祭りにかける気迫が伝わる。
- ・ 場所などを工夫、良く動いて撮影している。
- ・ メーン写真は中央の男性の表情が力強くてよいが、かぎ引き祭りそのものはわかりづらいため弱くなっている。
- ・ 説明的な写真が多く「喧嘩祭り」の熱気がいまひとつ感じられない。枚数が多く一つ一つの写真が小さくなってしまったのも残念。

〈 入 選 〉



- ① ひらとみ祭り船漕ぎ競争
- ② 広報やまと (平成25年9月号) ・ 5 ページ
- ③ 総務企画課

○ 講評

- ・ 奄美ならではの船漕ぎ競争。色々な場面をレンズを駆使して撮影、祭りの盛り上がりが伝わってくるようだ。
- ・ 一枚一枚の写真は、それぞれ動きがあってよい。
- ・ レイアウトもユニーク。
- ・ 雑多に置いた写真で熱気を伝えたいという思いを感じるが、写真の枚数が多いため小さくなり、少し迫力に欠けたようだ。
- ・ 2、3枚漕ぎ手のアップが欲しかった。